新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一ヶ月壹圓 一部五錢 郵稅一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二〇五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

世界列强の外交政策

孤立の危機に立つ ソ聯邦の外交政策
國內安定迄は靜觀態度

【モスクワ四日發國通】ソヴエト聯邦は國內を再建し民衆を結束する手段として排外政策を採用して以來、當然の成行ではあるが對外關係は惡化の一路を辿つてゐる英國とはスペインの不干涉問題で隔離し、フランスはトハチエフスキー元帥處刑事件で一ぺんに氣を惡くしてソヴエトを見限り、日獨伊防共協定では相互援助條約の同盟國たるチエッコスロヴアキアでさへデルボス佛外相のプラーハ訪問後急速に對ソ關係が惡化するといふ有樣である、ソヴエト聯邦にとつて大切なトルコも最近イランアフガニスタン、イラク各政府と四國相互援助條約を締結してソヴエトに對抗するし、ポーランドとも鐵道紛爭を起し形勢が惡い、其の上ルーマニアは總選擧で親ソ派總退却で今やソヴエト聯邦は外交的に全く孤立の危機に曝されてゐる、然も今年はこの孤立は更に深刻化すると見てよい、この危機に立つソ聯外交を牛耳る者はスターリンを除き何といつても外務リトヴイノフ、內務イエージヨフ、國防ワラシーロフの三人民委員で、モスクワではこれをソ聯守護の三天使と呼んでゐる、彼等はソ聯の當面する內外情勢を知悉しており表面の强がりとは反對に現實には危い橋は決して渡らない、世界外交の指導者たる英國はソヴエトの老大な陸軍を高く買ひこれに極東牽制の役割りを振付けようとの肚らしいが、ソヴエトが外蒙第一線防禦の身振りを示し又支那へも援助の挨拶をしてゐるのは結局單なるジエスチユアに過ぎないことは間もなく英國も氣がつくと思はれる、結局クレムリン宮で考へられてゐる赤色外交の難關打開策は

一、國際聯盟支持、集團的安全保障强化
一、スペイン拋棄、各國の人民戰線强化
一、支那の第二スペイン化待望

位のもので、唯一の積極策としては一切の必要物資を主に米國から輸入しかくして內政安定への血路を對米依存策に置かうとする案があるが、何れにせよ國內の再建が出來る迄は對外的に積極的行動を避け靜觀の立場を守るといふのがソヴエト外交の根本方針である

日本支持積極化 新年の獨外交政策

【ベルリン四日發國通】一九三八年のドイツ政府の外交策は依然防共の線に沿うて日獨伊三國同盟の强化に邁進すると見られる、ドイツ政府は英國に氣兼ねするとか又は英佛獨伊の四國協調が成るのではないかとの報道も行はれてゐるがこれは英佛兩國の空想する歐洲政局の布石である、ドイツ政府は歐洲政局が獨伊の防共樞軸と他方佛英の聯ソ派に割然分裂してると見てゐるから今後もベルリン・ローマ樞軸の强化に努め、寧ろ英國を之に聯繫せしめる樣努力を續けるであらう、ドイツ政府の對外要求の中心は矢張り植民地問題であらう、このスローガンは又國內的民衆動員にも大いに役立つだらうが、然しその實際的解決には今後尙相當の時日を要するであらう、之に反し中歐問題即ちオーストリア問題とチエッコスロヴアキア內ドイツ人少數民族問題との二大懸案に付てはドイツ政府は現實的に一歩々々解決を迫ると豫想される、殊にイタリア政府との間に具體的折衝を開始し、問題の有利な展開に盡力するに違ひない、貿易關係に付てはドイツ政府は經濟復興四ヶ年計畫達成の見地から諸外國との貿易調整を圖る方針だから、此意味で南歐洲への進出が注目される、ユーゴースラヴイアを初め東最後に支那事變に對しては從來目前の利益に拘泥して對日援助を躊躇してゐたドイツ政府事務當局の一部も最近では東亞に於てドイツと優先的に協力せんとする我が方の誠意を確信しつゝあり、他方ドイツの駐支外交軍部兩方面とも蔣政權に對して抱いてゐた誤れる希望を棄て、「重慶、漢口政府を容共的と確認すると共に右は全く中央政權としての威令を喪失しつゝありと本國政府に報告してゐると傳へられるから、終始一貫日本支持のヒトラー總統、ゲーリング空相の大局論が事務當局經濟界の間にも徹底し、ドイツ政府の事變に對する日本支持の態度は愈よ明朗透徹積極化するものと期待される

毅然たる伊外交

【ローマ四日發國通】一九三八年の歐洲時局に約束された一つの宿命は英佛を盟主とする集團的平和保障主義と獨、伊を中心とする個別的平和保障主義との抗爭であらう、前者は國際聯盟を根據としロンドンを足溜りとする世界現狀維持派であり、後者はベルリン・ローマ樞軸の上に遠く日本の躍進勢力を加へた世界現狀打破派の一團である、此對立はスペインに於るフランコ政權の勝利、極東に於る日本の對支作戰の驚異的進展とによつて愈よ露骨化して來たがイタリアが英斷的滿洲國承認と聯盟脫退によりベルリン・ローマ・東京樞軸の强化に決然として華々しい役割を演じたことは英佛の集團保障主義に對する絕對反對の表明であり、かくして歐洲の勢力均衡は英佛の讓步以外に最早望み得ぬ狀態となつた、此難局に處し英國は植民地問題、スペイン、地中海、極東等幾多の問題を一手に控へ局面展開策に苦慮してゐるが、過般の英佛會談の如きも結局獨伊に對する示威行動以外には何等の成果も得られなかつたと解される、此間に處しイタリアの態度は極めて率直且毅然たるものがある、英佛ソ聯に對してはスペイン問題、エチオピア問題あり、英國に對しては地中海問題、建艦對策、更に東亞植民政策に伴ふ紅海沿岸制覇問題があるがその進路は既に決定し一路不變とさへ見られる、即ち聯盟脫退によつて示された決意は今後のイタリアの進路を充分に暗示するものであらう、元より歐洲政府の複雜性はイタリア政府に須叟の偸安も許さざるべく返て喬木に風强しの立場に置かれる結果驪進的諸政策を擁し意外の困難に逢着することも考へられるが、最近のユーゴースラヴイア、ルーマニア等の接近に示されたバルカン政策の成功の如きはムッソリーニ首相の下にその對外政策の健やかな展開の序幕と見るべきでありイタリアの前途は洋々たるものがある

戰火去り明朗の新春 南市の復興氣分
避難民續々と歸還

【上海四日發國通】戰火去つて五旬、新春を期して復興の氣は澎湃として湧きあがつたが特に大上海の發生地たる南市城內に對する支那民衆の愛着は切なるものあり、わが軍では既に舊臘三十日、卅一日の兩日に亘り一部避難民の歸宅を許したが、その希望者は忽ち一千名に達し、歸宅後も頗る良好なので更に一月四日を期し特定の良民に歸還を許すことになつた、南市城內には今なほ多數武器彈藥が保存しあり、南市憲兵分隊では支那良民より選拔せる警察隊及び南市游動警察隊と協力これが一掃に努め、安居樂業の礎地を築きつゝあり、新春と共に明朗南市復興の第一歩は踏み出されるに至つた

島田俊雄氏等一行南支へ

【天津四日發國通】豫て皇軍慰問のため來支中の島田俊雄、岡田忠彥、大口喜六、沖島謙三、原口初太郎諸氏の一行は四日午前飛行機にて大連經由南支に向つたが上海、杭州、南京など各地の皇軍慰問の後十日歸朝の豫定である

內鮮支提携へ
喜多少將邸で歡談

【北京四日發國通】山下、喜多の兩少將は三日正午頃喜多少將邸において新春を祝し中華民國臨時政府の王克敏氏をはじめ各委員を招待して午餐會を催し三時間に及んだが、その席上折よく朝鮮より來京中の尹德榮子爵および實業家韓相龍氏も來賓として列席、新政權と朝鮮との親密たる提携等につき隔意なき歡談が續けられ尹、韓兩氏は朝鮮の貴族代表ならびに實業家代表として北支皇軍慰問に來京中のもので日鮮支提携の第一歩として各方面に注目をひいてゐるものであるが、これを機會に新興政府の諸建設方面に實際的協力を具體化せんとするもの

今年の米國財界

【ニューヨーク四日發國通】一九三八年の米國景氣は「ルーズヴェルト大統領の腰の入れ方次第」と云へやう、米國財界の歲末景況は概して冴えず、所謂「心理的不景氣」に加へ國際情勢の不安、就中極東問題の重壓が一般の人氣を沈滯させてゐる、新春三日議會に送られる大統領教書においてルーズヴェルト大統領はデフレーション政策に對する一般の危惧の念を一掃すべく努力するものと見られるが、財界の意見は政府の豫算均衡化方針が放棄されぬ限り大統領の期待するやうな成功は收め得ないだらうとなし一部は早くも政府の財政均衡化方針は一時中止の已むなきに至るのではないかとの觀測を下してゐる、米國の失業者數は本年夏以來卅萬乃至五十萬を增加し一方主要工業株の相場は本年春以來三割乃至四割下落したが英國の主要工業株が同期間に僅か四分乃至二割の値下りを示したに比し相當著しい下り方である、マンハッタン商店街のクリスマス大賣出しも前年より頗る不味た賣行を示してゐる各自動車會社は新型自動車の賣行が芳しくないのに鑑み賃銀の切下げを考慮中と云はれるが勞働總同盟も產業別組織委員會もこれに對し一向默つてゐる、とにかく最も重大なのはルーズヴエルト大統領が不況退治に何處迄乘出すかが問題だ

愈よ重要性加ふ 情報宣傳機關

內閣情報部長 橫溝光暉

世界の列强が情報機關の整備に大いに意を用ゐるやうになつたのは、そう古いことではなく、情報部乃至宣傳省が政府機構の一を爲しつゝあることは世界大戰が誘設した政治形態の一大特色である、すなはち世界大戰による國際情勢の急變、政治經濟組織の複雜化と、これに伴つて起つた國民思想の混亂との爲に、各國とも國政の運營容易ならざるに至り、こゝに俄然政治の强力性が要望せらるゝに至つた、しかして强力政治は必然に國民の正しい理解共鳴を必要とするので、情報宣傳の緊要性はこゝに發するのである

國家の政治の上に情報が必要であることは比較的古い時代においても認められたが、情報と形影相伴ふ宣傳の必要が痛感せらるゝに至つて、情報政策は政治に外交に將又國防に緊要缺くべからざるものとなつた、しかして宣傳が特にその威力を發揮したのは世界大戰であつて、英佛その他の聯合國側の宣傳の偉力は武力に强いドイツ國をして慘敗させたのである。

「ドイツが戰敗した理由は聯合軍の砲擊に對抗することが出來なかつたからではない、ドイツ國內に散在してゐた外來移住者と過激思想の持主が聯合國の魅惑的宣傳のために容易に誘惑されて、戰線の背後で國家が瓦解したからである」とはドイツ人自らの述懷である、げに聯合國側は組織的に宣傳機關を設け極めて巧妙に且つ甚だ有效適切に宣傳戰を戰つて同盟國側の國民は勿論前線戰士さへも精神的に思想的に昏迷に捲込んでしまつたかくてドイツが强力なる武力を倘保有しながら敗戰の憂目を見たのは周知の事實である情報宣傳の效果威力は何も戰時のみ發揮せらるゝとは限らない、現在世界の列强は常時國際宣傳戰、思想戰を戰つて困難な時局に處して、自國を有利に導き、延いては深刻なる經濟競爭の覇者たらしむと虎視眈々たる有樣である、從つて各國共に程度の差こそあれ情報宣傳には國家自ら大いに力を注いでゐるのである

宣傳及び言論統一をもつて國家存立の基礎條件としてゐるソ聯邦は言ふに及ばずドイツイタリーは夫々宣傳省を設けて對外的にニュースの國家統制を行ひ、對內的には國內輿論の完全なる統一を期し、進んで國民の啓蒙教化に大童になつてゐる、イタリーのムッソリーニや、ドイツのヒトラーが國家統一に成功してゐるのも、情報宣傳を重要視したことが大きな原因であることは蓋し疑なき事實である、よつて左に列國の情報機關について所謂統制主義國家たるソ聯、ドイツ、イタリーと自由主義國家たる英米佛の六大强國について簡單に說明しよう

×

イタリー

イタリーは所謂國家全體主義ファッショの國であつて、その情報機關は新聞宣傳省と言つてゐる、これは始め政府部內の一部局に過ぎなかつたのであるが、ムッソリーニの女婿で今彼の後繼者の有力な候補に數へられてゐるチアノ伯が、一九三二年八月に情報部長に就任してからは漸々とその機構を擴充して一九三五年六月即ち伊エ關係が逼迫して戰爭にならうとしてゐた時、遽かに新聞宣傳省に昇格され、チアノ伯が初代の宣傳大臣になつたのである。チアノ伯がエチオピヤ遠征後、グランヂに代つて外相に轉じたので、現在の宣傳相はディノアルフイエリである、宣傳省の職能はイタリー國內に對する宣傳及び國外に對する宣傳の兩者を統轄することであつて、その統轄の下に國內機關として「ボロデ・イタリア」紙以下の諸新聞があり、對外的機關としてステフアニ通信社がある、ドイツはナチズムによる統制主義の國家であるが國民敎化及び宣傳省（俗稱宣傳省）はこの國の國家意思の統制を司る最高情報機關である、宣傳省の使命は「政府の政策及びドイツ祖國の國民的復興に關し敎化及び宣傳を行ふ」といふことになつてゐる換言すれば國民思想の敎化、即ち共產主義、マルクス主義等の左翼危險思想を排擊し、他方祖國愛の觀念を基礎とする國家社會主義を普く國民の間に徹底浸潤せしむるため國家、文化、經濟に關する宣傳及び國內國外の輿論指導に任ずるとゝもにこの目的を遂行するに必要なる諸般の施設を管理するにある、これがため一九三三年三月十三日附大統領令に基いて從來外務、內務經濟、營養農業、遞信の各省に分屬してゐた情報宣傳敎化に關する政務は一切宣傳省に移管統合せられたのである、大臣は創設以來のゲッペルス博士で次官フンクが、これを輔けてゐる、兩氏とも國家社會黨宣傳部にあつて永年ヒトラーを助け、言論戰に任じた闘將であつて、殊にゲッペルスはヒトラーの片腕として闘志滿々たる辯舌の雄であるに對しフンクはヒトラー內閣成立後直ちに新聞局長に就任した天才的智謀である。

ソ聯邦は言論の抑壓無彩を國是とする宣傳國家である。「ソヴイエト・ロシア」といふ語は「プロパガンダ」と同意語の響を持つ丈にこの國の政府機關は悉く情報宣傳の機關であると言へる、しかしながら實際はソ聯政府には情報機關らしい機關は僅かに聯邦人民委員會（內閣）に直屬するラヂオ普及放送委員會、藝術事務委員會、寫眞及び映畫工業管理局があり、外務人民委員會に情報部が存在するに過ぎない、この事實は一見甚だ奇異であるが、これがソ聯の本體を物語るものであつてこの國には元來言論は勿論思想の自由さへも許されてゐないのであるから、これが統制を圖る機關を政府が持つを要しないのである、しからばソ聯邦には情報宣傳の機關がないかといふに左にあらず、政府の母胎であり否政府と異名同體のソ聯共產黨において將又コミンテルンにおいて極めて大規模に且つ大膽巧妙に國內に對し又國外に對し宣傳を逞うしつゝあることは玆に細說を要しないであらう、只試みに共產黨宣傳部の組織を述べて推量の端緒を提供しよう即ちソ聯共產黨の中央委員會に文化宣傳部なるものがあり（一）黨宣傳および煽動部、（二）新聞および出版部、（三）學校部、（四）文化啓發部（五）科學術發見および發明部の五機關を具へてゐる。

最後にソ聯の情報機關として見逃し得ないものは、かのタス通信社である、タスは聯邦人民委員會に直屬する官營通信社であつて、ソ聯の新聞の記事はそのニュースたる限り一行一字と雖もタスより提供せられざるものはない現狀である、しかもソ聯の新聞といふ新聞は悉く政府の機關紙ならざるはない。

×

次に所謂自由主義國家たる英佛米三國の情報機關について述べんに、この三國には未だ獨伊兩國の如き綜合的機關の開設を見るに至つてゐない、英國は內閣各省に新聞關係の主務官を夫々配屬せしめてゐる外、外務省に獨立の部局を設けて情報事務を專掌せしめてゐる・佛國の情報機關も略々これと同樣であつて內務省に新聞班があり、陸海空の國防三省に報道普及の部局があり、外務省に情報部があつて對外情報事務を主管してゐる次に米國はどうかと見るに、この國にも統一機關は存在しないが、國務省始め陸海軍省その他各省に報道事掌の部局を有して、情報事務に任じてゐること佛國と大同小異である、しかしながら玆に特に注意を要する事は言論の絕對的自由、統制の罪惡を呼號するこれ等の自由主義國家においても、英に「ロイテル」通信社があり佛にアバス通信社があり、米にA・P通信社があつて夫々政府より內密に莫大の支援を受けて對內的に對外的に巧妙隱密なる宣傳に從事してゐる事であつて就中英國のロイテルと佛國のアバスとは政府の氣息通貫の機關たるを失はない實情にある（未完）

偶語

滿洲帝國武道會は康德五年一月一日を期し新制規程のもとに其の使命達成の第一歩を踏み出した▼同會は滿洲國成立と共に誕生せる歷史を有しながら一地方的存在に過ぎなかつたものを▼滿洲國皇帝陛下御大典紀念武道大會により一躍滿洲國武道會となり全滿に擴大されるに至つた▼然し一般には今尙ほ滿洲國體育協會の一分子の如く誤認され種々遺憾の點あるに鑑み新に規程を設け▼日本に於ける大日本武德會の如く權威ある日本武士道練磨の殿堂として輝やかしく發足したのである▼之を按ずるに日本武士道即ち日本精神である▼故にこゝに集るもの必ずしも日本人に限定される理由なく在滿三千萬民は擧つてこの崇高なる精神訓練に精進すべきである▼これ即ち一德一心精神高揚でもあるのである▼一言同會に望むところは單に武道の練磨場たるに甘ぜず▼進んで市井に氾濫せる武士道を冒瀆する不逞漢の掃滅にまで手を伸ばされんことである

北支に埋れた寶はどれ位あるか
軍閥搾取より開發への轉換

硝煙なほ消え去らぬ北支には早くも復興の意氣甚だ高きものがある、北支、それは廣大なる土地と、尨大なる人口と豐富なる資源とを擁して今や軍閥秕政の搾取より離脱して公正なる開發を待ちわびてゐる北支に埋れた資源は山西省の石炭を除いては必ずしも巨量とは言へない、しかし採取すれば無盡の產鹽地を持ち、良好な綿作地を有し、背後地また牧羊の要素に惠まれてゐる北支は、今後開發指導の如何によつては、交通施設の充實と相俟つて良好な產業地帶を現出する諸條件を具備してゐる、いまその一班を窺がつてみよう

山西の石炭

北支には世界有數の炭田を包藏する山西省がある、山西省の石炭の埋藏量は詳かではないが、支那側の文獻に從へば一千二百七十億噸と云はれ、全滿洲の石炭埋藏量に比し十五倍を超え、全支那埋藏量の五割四分を占めてゐるのである、撫順炭鑛の埋藏量を假りに十億としても實にその百二十七倍に相當する尨大なもので、この他河北、山東の兩省にも相當有望な炭出があつて一部は古くから開發されてゐる、河北省では開灤（英）、井陘（獨）等の外國資本によるものがありその他の既開發炭田も多く、採掘額は全支第一である又山東省も博山、淄川等の有名炭田のほか幾多の炭田に惠まれ、一部は日本資本により古くから開發されてゐる、しかるに山西省は豐富な炭田を擁するに拘はらず未だその開發は徴々たるものであつて、二、三の有力炭鑛に於てさへ年に二、三十萬噸しか出炭してゐないのは全く寶の持ち腐されの感を深くする　その原因は同省が工業地帶を持たなかつた結果、地場消費の尠いためと、海岸を去ること遠く而も鐵道の便に乏しいため輸出も出來なかつたためであらう、從つて北支に於て各種の特殊軍要產業特に重工業が興り、又一方海港への鐵路が開かれた曉には、この無盡藏の資源は東亞の人類に對して偉大なる貢獻をすることゝならう、なほ山西省の石炭埋藏量はリヒトホーフエンに從へば一約二千六百億と云ひウイリスは四千五百億噸、ドレーク亦七千百四十億と何れも一寸われ〳〵の想像も及ばぬ巨大な數字を舉げてゐるが此處には內輪にみて支那側調査の數字を以て始めに揭げたが、それにしても大したものであつてしかもそのうちには三百六十億噸に餘る無煙炭があると推されてゐるから、山西の石炭か、石炭の山西かと云ふ時代が來るのも遠い將來ではあるまい

以上のほか內蒙、察哈爾、綏遠方面にも石炭は皆無ではないが、上記の諸省に比較して地理的に量的に問題とならぬから記載を略する

察哈爾の鐵

北支に於ける鐵鑛の埋藏量は全支の過半に當る二億噸を包藏するものと推計されてゐるこの埋もれた資源は滿洲、朝鮮のそれに比して必ずしも大なるものではないが、日・滿・北支經濟開發の對象として意義ある存在と見ることが出來る、北支の鐵といつても、察哈爾の鐵鑛がこれを代表してゐる、察哈爾省の宣化縣及び龍關縣には從來合計九千萬噸の鐵の埋藏があると稱されてゐるが、調査は不充分であつて、實際は二億噸に上るものと最近推定されるに至つた、その他河北省の　縣、山東省の金嶺鎭をはじめ山西省の各地に鐵鑛の埋藏はあるが何れも少量である、察哈爾省の鐵鑛は歐洲大戰當時龍烟鐵鑛公司によつて採掘されたが大戰の終了後六萬噸の採掘鑛石と共に放置されてゐた、今次の事變前日本側と冀察政權との間に合辨開發の交涉が進められさらにこの冀察蒙聯合委員會產業專門委員會よりの委囑により興中公司がその開發に當り、取り敢ず山元に放置してあつた鐵鑛石六萬噸を日鐵との間に賣鑛契約を締結しその輸送を開始する一方近く採鑛にも着手することゝなつたと傳へられてゐる

河北・山東の鹽

先づ河北省の鹽から述べよう河北省の鹽は長蘆鹽と云つて豐財場及び蘆臺場の兩鹽場より產出するものを總稱してゐる、豐財場は天津縣に屬し塘沽、新河、東沽及び鄧沽の四鹽田を包括し、蘆臺場は寧河縣に屬し漢沽鹽灘と稱する南溝中溝、北溝の三鹽田からなつてゐる、長蘆鹽の鹽田面積は合計九千百二町步であつて關東州の鹽田面積と略等しく、滿洲國のそれに比してやゝ劣つてゐる、鹽田の構造は滿洲國や關東州のものとは異るが何れも天日製鹽である點は同樣である、長蘆鹽最近の生產高は年平均卅六萬キロトン程度であつて滿洲國の產鹽高に近似してゐる、鹽田一町步當りでは約四十キロトンで關東州の四十五乃至五十キロトンより劣るが滿洲國の場合に比すれば優れてゐる、長蘆鹽は過去における生產過剩が祟つて最近では極端な生產制限を受け、休止する鹽田が續出しその販賣區域も河北、河南、山西、察哈爾の一部に限られてゐる關係上それ等地方における一ケ年間の消費高を標準に自給自足が堅持せられてゐるため各鹽田は一定限度の生產を行へばそれ以上の自由採鹽を許されない狀態にある、從つて秋鹽の採鹽を許されず春季においても期間內に制限を受けてゐる現狀は遺憾とされてゐる、しかし長蘆鹽は昭和十一年以來日本に向つて輸出の途が拓け同年は七萬キロトン、十二年は廿三萬キロトンを日本に送り、さらに昭和十三年は卅五萬キロトンを對日輸出する計畫となつてゐるが、これは全く永年にわたる蓄積鹽があつた結果で、今後の輸出は專ら生產增加に俟たねばならない、從つて現在の如き地方的消費對象の生產制限を捨て春秋兩期に採鹽を行へば現存の鹽田のみでも年額大約卅五萬キロトンの增產は容易と見られてゐる、現在輸出は興中公司の專掌するところであるが、同公司は長蘆鹽の積極開發を目論んでゐるからその發展は將來目覺しいものがあらう、次に青島鹽について述べよう、山東省は西部を除く三方を海に面し多くの鹽場を有するためその產鹽額は長蘆鹽を遙かに凌ぐものがある、しかし青島附近に產する所謂青島鹽以外は多くは支那各地域は地場消費に充てられ輸出餘力を有するものは青島鹽に限られてゐる、青島鹽の生產額に豐凶の差はあるが大體年產三十萬キロトン程度であつて、日本內地及び朝鮮に對してその四割乃至五割を輸出する所に青島鹽の重要性がある、すなはち昭和十年は生產額卅八萬キロトンのうち十六萬七千噸を日本內地へ、五萬九千噸を朝鮮に送つてゐる、なほ青島鹽の需要に關しては日本專賣局が近海鹽增產五ケ年計畫において青島鹽五十萬キロトンを割當てゝゐるのでその生產も今後事變の落着を俟つて急激に增加するであらう、なほ最近日本內地における鹽の需要は化學工業の發展に隨伴して年々著增してをり、昭和六年頃の需要は百萬噸內外であつたものが現在では二百萬噸を越えんとする狀態である、これに對する內地の產鹽は既に極限に達し、年額六十萬噸を出すことは不可能とされ、昭和十一年の如きは實に百三十萬噸の輸移入鹽を以てその不足を補つてゐる實狀であるから今後上記兩鹽の開發に俟つもの洵に大なるものである

北支の棉花

山東、河北、山西三省の棉花產額は全支那棉花產額の四乃至五割に上り、北支に於る重要產業の一である、この三省の棉花作付面積は全支の作付面積の三割程度に過ぎないが收穫高が斯くの如く四割以上を占めてゐることは單位面積當りの收量が豐富なためであつて北支の棉花適應性を如實に示すものであらう、この三省の收穫高は勿論年によつても增減はあるが最近は一九三三年三百四十萬擔、一九三五年百七十七萬擔、一九三六年二百八十二萬擔、一九三七年四百八十七萬擔であつて平均約四百萬擔を產出してゐる、又前述の樣に單位面積當り收穫量が北支三省において他地方よりも高率を示してゐるのは北支では收量の多い米棉の栽培が比較的に普及してゐることを主因とするが、また他面北支の氣象、土質等の自然條件が植棉地として適當である結果である、今北支における米棉分布の狀況を見ると河北省三割四分、山東省四割四分、山西省九割四分に及び各省ともその殘餘が從來棉となつてゐる、北支三省の產棉は年によつても上述の如く異るが、假りに內輪に見積つて三百五十萬擔とみればそのうち輸移出されるもの約四十萬擔、北支紡績（在華日本側紡績を含む）に消費されるもの約二百萬擔、殘餘の百十萬擔は北支の製棉用乃至手工業用のものと見られよう輸出の大部分は天津港によつて行はれ、次いで青島、龍口、煙臺、威海衞各港によつて行はれる、なほ天津から輸出される北支棉の大部分は日本に向けられてゐるのであつて、こゝに北支農民の日本綿業への隸屬性がある所以である、日本の一箇年に使用する棉花は大體一億二千萬擔といはれ金額にして七億圓內外を輸入に俟つてゐるのであつてしかも年々三百萬擔宛の輸入累加を示してゐる現狀を見るとき北支棉花の現在の輸移出四十萬擔は過少の存在ではあるが日本の經濟圏內にあることが今後の北支棉作の强味であつて日本は永年にわたり山東省を中心として棉花改良增進に努力して來たのである、今回も興中公司を中心として北支棉花公司の設立が計畫され棉作の助長ならびに賣買に當る目論見が傳へられてゐるから、いづれにしても遠からず北支農村の黎明期が來ることであらう、北支は既に人口稠密であつて河北省は一平方キロ當り一八六人、山東省の如きは二三一人となつてをり、日本內地に比して遙かに高率を示してゐる、隨つて有名な農作地たる北支が食料品を輸入に仰いでゐる現狀を見るとき農家に現金收入を齎す棉花の栽培は、農家經濟から見ても重要なる政策であることを見逃すことは出來ない

天津に集まる羊毛

支那の北方は羊毛をよく產する、その產地は青海、甘肅兩省を主とし綏遠、察哈爾、陝西、山西、河北及び河南の諸省に跨る、これ等各地の產毛はそれ等の地方に消費されるものを除いては悉く天津に集まり、さらに海外に輸出せられ、しかも天津の輸出は全支羊毛輸出額の八割五分を占める點に北支羊毛の特性がある、すなはち天津は支那羊毛の最大の集散地であり、同時に最大の輸出港である、北支羊毛の種類は大別して綿羊毛、山羊毛、山羊絨の三種であるが天津市場に出廻る數量については的確な統計的數字は不明であつて需要の多寡及び豐凶によつて增減するが、近年の大勢は青海、甘肅、寧夏、新疆各省よりのもの約二十萬擔（擔は百斤）內蒙古約十萬擔山西、陝西產約六萬擔、河北山東、河南產約四萬擔、合計四十萬擔と推定されてゐる、天津に集貨した羊毛は同地で加工され或はカーペットに成半は衣類等に使用されるが、過半は米國をはじめ日本、英國ドイツその他へ輸出される、その輸出額は一九三四年二十三萬擔一千二百十二萬元、一九三五年三十二萬擔一千四百三十萬元、その大部分は米國向けであつて日、獨、英への輸出は極めて少量に過ぎない隨つて今後生產ならびに集貨に對する善處が要望されてゐる

康德戊寅元旦

日新又新

張景惠

支那敗戰の跡を見る

關東軍囑託　根元武雄

世界史的ニュース　狼都南京の陷落は世界史的ニュースとして電波を躍動させた、南京陷落がアヂス・アベバの陷落にもまして世界人の耳底に强烈な響きを與へたやうに思料されるのは東亞人の僻が目であらうか、何れにせよ、支那事變が世界史的意義を多分に包藏してゐることは吾等の等しく信ずるところである、玆に戰線を繞る數個の話材を振返つて見やう

蔣の謬想

重慶政府はなほ今後と雖も對日長期抵抗を續けることであらうが、渠等がこれ以下の暴計をもつて支那民衆の平和の希望を蹂躙することを、支那民衆は最早許す事が出來ない筈である、嘗ての國民政府は自己權力、利域の擴大を試みるために抗日政策を撰び、西安事變以來共產黨に魂を賣つた蔣介石は、結局

一、國民政府改組
二、對日軍事宣戰
三、滿洲失地恢復
四、容共政策の恢復

といふ四項目よりなる張學良の通電を消化し且つ支那共產黨に對する屈服的態度を表明した、一九二七年國共分裂以來、不俱戴天の仇敵として國民政府は共匪剿滅工作に連年狂奔したことは周知の事實であり、國民政府の排共意識の熾烈な蔣介石が、國共再婚を實現せしめたといふのも共產黨の强引な吊り手が奏效したのであつて、畢竟國共兩黨が成功したのは「抗日」といふ一點のみを共通の目標として步み寄つたものと言ひ得る、斯くて全國的な抗日戰線統一は奇異を感ぜしめるほど迅速に表面化した抗日赤化に血眼となつた支那軍の兇彈は、蘆溝橋において國民政府の小兒病的主戰論者ばかりでなく日和見的態度の蔣介石も大勢に引摺られて、對日宣戰の大見得を切らざるを得なくなつた、地大物博渢床を誇る彼等は日本に對する重大な認識を謬つて長期抗戰の主張に首肯した、國民政府主戰派の支那の實力過信も彼等の主張の根據であつたが當初から長期抵抗を强調しなければならなかつたのは一面支那の實力に確信がなく、他力本願、以夷制夷に物心兩面の期待を抱いてゐたゝめでもある、斯かる支那側の弱點は戰線の擴大に伴つて暴露して行つた、長期抵抗は短期滅亡に哀れな移行を示した、はじめ國民政府主戰論の根據は次の如きものであつた、これは彼等自身の重大な謬想として指摘されたに過ぎない、即ち

一、軍力からいへば、日本は大海軍を持つと雖も、支那は大陸國家であるから港口の封鎖以外には充分能力を發揮出來ない、空軍は支那の交通、工業、都市を破壞するであらうが、支那の防空には相當の準備がある、陸軍に至つては、日本軍は精良なる器材があるとはいへその數量は絕對に支那の多きに及ばない、しかして戰鬪力は久しきに亙る戰役の經驗を有する支那軍の比ではない、滿洲における日本軍と匪賊との戰鬪に於る情況から見て日本軍の死亡率は匪賊に比較して極めて大で、日本軍の弱點を暴露したものである、この外支那軍は一切の天時地理を充分利用し得るのであるから戰勝の目的を達し得る

二、日本戰備の目的は支那だけでなく、國內、屬領、その他に大量の軍隊を駐めなければならないから支那に動員し得る兵力はその總數の一半に過ぎない、しかしながら支那は全國の力量を動員し得る

三、日本は「即戰即決」の方法で戰爭を解決せんとするが、資金缺乏し、財源斷絕し、民心動搖しその他國內の危機現はれ、支那が三年か五年戰爭を延長すれば充分である

四、心理的に日本は一致してゐないが、支那は上下一致してゐる

五、支那は各國の實力援助を受けられ、世界輿論に同情されてゐるが、日本はその反對である

といふ見解の下に、長期抵抗の可能性を自惚れてゐた、併しながら斯くの如く支那側の恃む所の諸點は事變の進展に伴ひ片つ端から裏切られ彼等の容望は全く幻滅の域に陷り流石に傲岸な連中もこれを認めない譯にはいかなかつた

嘘から出た眞とか、瓢簞から駒が出るとかいふのはその可能性を首肯し得る場合である、國民政府の謬想は餘りにも甚しく、殊に彼等は前記各個の誤謬に滿たされた主張を國內外に對する宣傳のためにも强調しなければならなかつた、これ等の認識不足を承知しながら宣傳のために空虛な主張を繰返したものもある　支那國民も欺かれ、歐米の民衆にも信じさせられたものが甚だ多い、特にソ聯が支那の實力を過信し、支那國內におけるソ聯勢力乃至國共合作線上の共產黨勢力の增大を盲信してゐたゝめに、對支工作に大蹉跌を來した醜態は見逃せない（未完）

〔隨〕〔筆〕

人生老ひ莫し

新春寄言

新居格

新年になつたので、わたしは新しいことゝは何であるかを考へてみたい。

新しいといふことだけで良いものが澤山ある、新しい魚、新鮮な野菜といつたものがそれである、しかし、牛肉になると血の滴たるやうなものより若干時間を置いたものゝ方が良いと云はれてゐる。

書物になると新しいものが必ずしも古いものにまさらない事は餘りにも明白である。

若いだけの理由で、青春の新しい特權を無反省に主張したがる青年がゐる、わたしが問題にしたいのはその點で、青年だから誰もが常に新しいのではない、青年で癖に隨分古い考へ方をしてゐるたり、蒼古な趣味をもつてゐる人達だつて少くはない、それと反對に、肉體的には老いてゐても思想と感情とが決して衰へないばかりか、常に益々新しくありうる人達がある、大凡老を聊つほど

（無）（益）（な）

ことはない全く意味をなさないことだからである、徒に老を歎ずるより王羲之の如く「老の將に至るを知らず」と[illegible]りつとしてゐる方が感じがいゝ、それに、「禮記」といふ本には「七十を老といふ」文句がある、七十歳以上にならなければ年寄りとは云へないものらしい。

わたしは人生老ひ莫しと考へてゐる、人間の一生は新しさの連續であつて、それは丁度見知らぬ國に旅を進めてゆくやうなものである、旅の進行するにつれて、風光の新しい展開があるやうに、人間一生の進行にも絕えず新しいものに觸面してゆけるからである。

若人セネカはその書翰のなかで次ぎのやうに書いてゐる「一番嬉しい年齡は、老境になりかゝつて、未だ老耄に陷らない時である、競走場の末端に立つてゐる人でも樂みがあると思ふ、そんな樂みなんざあしなくもよいといふこと、それ自らが樂しみの代りになる」（前田越嶺譯「哲人セネカの書翰」より）

これを現代に例をとつて云へば、外野のスタンドに立つて野球試合を見ながら、あんなに球なんか投げなくてもよさそうなものだと考へて樂しんでゐる形である。

街上でわたしを捉へる友人が「どうだね、面白いことはないか」と訊く、わたしは面白いことゝは何ぞやと反問する、「君の面白いこと必ずしも僕にとつて面白いことではないからね」「そんなことをいつてるんぢや面白いことはなささうだな」「うん、面白いことがないこと自體が面白いんだよ」

同じ書物でも若いときに面白いと思つた箇所と、後になつて面白いと感ずるところが違つて來る、以前には分からなかつたことが分かつて來るのは、まさに一箇の新しい發見なのである、頭の禿げてゆくのは、誰もいやがるものらしいが、光頭會なぞ組織してゐる連中になると、逆に禿頭そのものを愉快がつてゐる、さうして愉快がる

（彼）（等）（の）

心理の方が青年的で、頭髮の薄れてゆくのを氣に病む青年の方が老人的心理になる、萬國を肯定してかゝるのが青年的で、消極的に考へるのが老人的だといふことになる、肯定的見地に立てば、頭の禿げることも、齒が拔け落ちて義齒になることも、老眼になることも一として愉快でないものはないのである。

わたしは老眼鏡をかけ出して、老眼鏡をかけることそれ自體が何となく一種の人生的な落付が伴ふのでひどく快心になつた、義齒になつてから外づして綺麗に掃除の出來るのを氣持よく思ひ出した、齒には隨分汚ないものが附着してるものだと分かると、外づして清潔に掃除の出來ない青年の本來の齒の不便さを氣の毒に思つたりする、わたしは年齡のことは餘りにも氣にならなさ過ぎる、昨日あたり大學を出て來たやうに思つてゐるあるより仕方がないのが、むしろ、老ひ得ざる悲哀をもつてゐるやうだ。

フランス語に「綠の老人」といふ言葉がある、いつまでも元氣な老人のことだが、老人は皆「綠の老人」でなければならぬ、と私は思つてゐるこれは老人ではなく、人生の新しい展開を長距離に於いて續けて來た人に外ならないのだ。

今し方巴里から着いたばかりの薄卵色の假綴の新刊の小說を無雜作に手にして日本の「綠の老人」が銀座邊の茶房の一隅にコーヒーをすゝりながらよんでゐる、その傍に、フランス文學をやつてゐる大學生達が入つて來たとする、彼等はまだ「綠の老人」のよんでゐる本を知らないので、その場面の對照を考へてみる形の上では老人はあきらかに老人であるが、しかし

（知）（識）（の）

上では、老人が青年たちよりも新しいことになつてゐる。

西園寺公は八十を過ぎてもフランスの新刊書は小說に至るまでよんでゐる、彼の如きはまさに典型的な「綠の老人」である、だから常に新らしいのである。

西園寺さんは元老だから銀座の茶房にも行けないのだがわたしなら幸ひ一介の市井人だからいくら年をとつても喫茶店へでも、どこへでも出かけると思ふ、わたしは世の所謂老人らしい趣味は、いくら老人になつても樂しまないだらうと確信してゐる、いつまでも新刊書をよみ、シネマを見、ダンスホールに出かけることに違ひないと考へられて仕方がない。

肉體的の老衰は免かれ得ぬとしても、知識的にはもちろん、感情的にも新しくなり得ない法はないと信じてゐる、物事にたいする新しい解釋なり新しい見方なりは、肉體の衰弱とは關係なく出來るのである、そして人生に老はない、何故ならば人生とは新しい展開の繼續だと考へてゐるからである、これが新年の初めに當つてわたしの述べたい所感である

皇室御繁榮の瑞祥

五百年にある天然人參を獻上

皇帝陛下に

通化省呂省長から

通化省呂省長は二日皇室の御繁榮を表徴する如き五百年經過といふまことに珍らしい天然人參の獻上手續をとつた、この天然人參は舊臘十九日省長が撫松縣管內視察の途、白頭山を去る九十萬里のところ白頭泊子において三十年來發見されたことのないといふ珍らしい天然人參が發見された事を聞き直ちにその人參を取寄せ調べたところ重量五十五匁、長さ二尺五寸に餘り五百年も經過してゐるといふ誠に珍らしいもので、而もこの發見者が白山靈といふ農夫、發見された地が白頭山で、皇祖發祥の地が白頭泊子、何れも白を頭文字にしてゐるのも珍らしく何か皇室に關する瑞祥のしるしだらうと地方民とも協議し皇室獻上の手續きをとることにしたものである、なほ同時に猪一頭獻上の手續をとつた【寫眞は天然人參】

東洋大會開期は一九四二年が妥當

【マニラ二日發國通】日比對抗競技のレスリング代表軍監督として來比した大日本體協常務委員八田一朗氏は二日午後六時比島體協イラナン主事と正式會見をなし、本年五月大阪で開催豫定の第一回東洋選手權大會々期延期の件につき日本東洋大會委員會の決定事項ならびに事情理由等を通告した、尚この第一回東洋大會開期に關してイラナン氏の試案は左の如きものである、即ち本年九月は比島側都合惡く又明年ともなれば第十二回オリンピック東京大會の前年であり比島體協としてはその準備のため經濟的に絶體不可能と思はれる、從つて東洋大會の規約通り一九四二年に比島で行ふのが今のところ目下とも妥當と考へる、しかし比島で行ふ豫定の第二回大會の權利を日本に讓るだけの準備は持つてゐるから日本側から正式申入あり次第回答する筈である

消防出初め式

時局柄本年は取止め

消防署の恒例出初め式は時局柄本年は取止めることゝなりこれに交ふるに五日午前十時署員一同新京神社に參拜して祈念することゝなつた

「南京攻略戰」

詩人部隊長作

【南京國通】詩人部隊長として知られてゐる〇〇部隊長は歴史的南京攻略戰に駒を進めて部隊指揮に赫々たる武勳を樹てたが、三日左の如く南京攻略戰を詠んだ歌を作つた

〇〇警備司令官作詞

一、何處まで續くクリークぞ　七日、十日のそれならで　水を渡るは幾そ度び

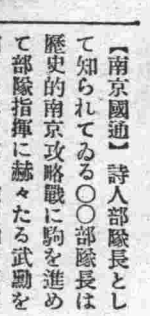
三、さもあらばあれ强者は　草むす屍はかねてより　みづく屍も何のその

三、悠久こゝに四千年　千古に流れる長江の　邊りに馬をば進めつゝ

四、夕に拔くや紫金山　明高陵はあの邊り　興亡誰か感なけむ

五、夜はほの／＼と明け渡り　旭日浴びて金陵の　橋頭高く日の御旗

六、波路遙けきひんがしの　みかどのいます日の本に　萬歲の聲響けかし

滿洲金洪水時代

昔日と面目一變せる企業形態

菊池幸作

滿洲の採金事業は非常に古い歴史をもつてゐる、滿洲地質調査所の調査によると、松花江上流地方には千數百年前に土民が砂金の私掘を行つた痕跡があるといふ、採金が旺んに行はれたのは一八八〇年頃からで、當時は漠河、黑河方面でロシア人の組織的な盜掘が相當廣範圍に亘つて行はれてゐた、この事業が近代的企業組織の下に大々的に行はれるやうになつたのは滿洲國建國以後のことであつて、それまでは土民やロシア人の私掘、盜掘は主として至つて幼稚な原始的なものであつた。かように古い歴史と豐富な金資源をもちながら採金事業の發達が非常に遲れてゐるのは誰しも滿洲の歴史を繙けば分るやうに政局の不安、財政の紊亂等が久しい間續いたゝめであつて、殊に匪賊の横行、交通不便、資金の不足などから組織的な企業が出來難かつたのである。

◇

政府が金資源の統制的開發に乘出したのは建國後の大同二年五月で、先づ關東軍が特務部內に採金事業調査部を設け、砂金調査隊五隊と山金調査隊一隊を組織して積極的な調査に着手したのだが、各調査隊員は前人未踏の地に運輸の困難、匪賊の不安、惡氣候病魔等と鬪ひながらもよくその任務を果し、多大の效果を收め得たのである、この採鑛調査を基礎にいよ／＼政府の採金事業に對する根本方針が極り、翌康德元年五月十五日資本金一千二百萬圓をもつて日滿合辦の滿洲採金株式會社が創立し、科學的開發のメスを加へることゝなつたのだが更に康德二年には鑛業法を公布して鑛業出願を迅速に處理すると共に、民間企業家の積極的な活動を促すことゝなつた。

◇

政府の產金政策の確立とよつて康德三年までには北滿金鑛、延和金鑛、熱河鑛業、大滿採金等の四山金鑛會社が、次いで康德四年には滿鐵系の滿洲鑛業と政府、三井共同出資の熱河鑛山が創設され、その他大同產業、大同殖產、大陸產業公司等も進出するなど企業形態は昔日と全く面目を一新したけれどまだ積極的に收穫を擧げ得るまでにはいたらず、康德三年度には全滿產金額一千三百三十萬圓のうち約九割七分までを滿洲採金會社のみで占めてゐる有樣で、昨康德四年度も滿洲鑛業が從來鐵道總局で所有してゐた蒼石、淸原、五商樓、靑隆、隆化の金鑛を稼行することゝなり、又延和金鑛の增產、熱河鑛業の倒流水金鑛稼行などによつて二百四五十萬圓程度の產金が豫想されてゐるが、滿洲採金會社の豫想產金高一千二百五十萬圓からみると頗る微々たるもので、民間企業の產金は極めて振はず、その發達はむしろ今後にまつべきである

◇

滿洲採金會社は特權區域として舊吉黑兩省の地域即ち北滿ならびに間島省一帶九省八十八縣の產金を統制してをりその面積は全滿の六割餘りを占めてゐる、その區域內の既存金廠は殆んど同社が統制し新鑛業權をも獨占して直營又は一般企業家に租鑛や請負を契約してゐる、この統制地域內で最も年產額の多いのは佳木斯地方で、三年度には全產額の約五十四%を占めてをりこれに次いで黑河、奇乾、琿春、延吉の順となつてゐる。

◇

佳木斯地方で現在稼行してゐるのは有名な小石頭を中心に陀腰子、永豐鎭の一帶、松花江左岸蘿北縣の觀都金鑛局の鑛區である、何れも採金會社の直營區で無慮九千の採金夫が同地方で採掘に從事してゐるが、現在二隻の採金船を小石頭附近に建設中である、黑河地方には在來の金廠が多數存續してをり、鷗江、呼瑪、愛琿各縣には興安、德安、復興等をはじめ二十有餘の金廠が分布してゐるが、殆んど大部分採金會社の統制指導下に留かれてゐる、最近有望な新鑛區が多數發見され、既に泥鰍河には採金船二隻が動いてゐるほか、達拉罕と倭抵根河にも大型採金船を組立中で採金の機械化が實現されつゝある。

◇

琿春地方の鑛床は規模が大きく、主として山腹に分布してゐるので昨秋來扇水流採金法といふ大仕掛な近代的方法が採用されてゐる、なほ近く淺野系の採金會社が設立される筈である、延吉地方は現在まで延和金鑛のほか見るべき鑛區少なく、餘り振はなかつたが、山金の賦存地として注目されてをり、開山屯には原鑛日產三十噸の金鑛精錬所が建設され舊臘より操業を開始した、こゝでは牡丹江方面の靑林、玉虎林、寧安ならびに密山方面の山金をも精錬することゝなつてをり、砂金鑛中心の斯業に新生面を開くものとして屬目されてゐる、奇乾地方には北滿金鑛、海拉爾產業公司、アルグン共同組合等が採金會社の統制下にあり、將來の發展が約束されてゐる

◇

支那事變の勃發と共に滿洲國の金政策は急に度に強化され、金增產は未曾有の緊急性を帶びて來たが、既に政府は康德三年末に產金五ヶ年計畫を樹てゝ金の一大增產に乘出した、これによると康德四年度より八年度までの間に合計二億圓の產金を行ふ計畫であるが、採金會社事業區域以外からも約二億圓を豫定し五ヶ年間に合計四億圓の尨大增產を實現せんとしてゐる、しかしこの計畫遂行の前途にはなほ幾多の困難が横たはつてゐるのを見逃せない、先づその第一年度たる康德四年の產金額を見ると採金會社の成績は十月までに千二十五萬圓、年末に至るも千二百五十萬圓の豫想で、豫定額に對する不足は二百三十萬圓に及んでゐる

◇

この原因として擧げられるのは第一に勞働力の不足であるが、砂金鑛が殆んど全部を占めてゐる現狀では採金船による操業を除けば總て採金苦力の手掘採掘であるから、增產のためには必然的に勞働力を增加させなければならないそれにも拘らず昨年下期以來の勞働市場は全滿的に拂底し北滿砂金事業の最盛期である七月以降はこのために豫想以上の打擊を蒙つたといはれてゐる、こうした勞働力の不足は今後北支を含む產業界の全面的繁榮に伴ひますます急迫するものと見なければならない、しかも勞働力のみに依存する手掘採掘はその他の諸種の外的事情に影響されて結局產金額に相當な動搖を與へることは避け難いであらう、その對策として最近採掘の機械化、特に採金船の增設が考慮されて來たのである、現に北滿泥鰍河には五立方呎および三、五立方呎の採金船各一隻が操業してをり、今年中には合計十二隻の採金船が北滿採金地帶で活躍することゝなつてゐる。

◇

たゞ採金船の製作には長日月を要し、發注から操業までには約二ヶ年を見込まなければならない事情にあるため、差當り上記の大增產計畫の遂行には可成りの困難と犧牲が豫想されるのである、まして產金量の極めて微々たる自由區域においては更に困難が增大するであらう、なほ採金事業に對する一般問題としては治安交通の不備といふ基本的障害のほかに鑛業法の不備、技術の不足、鑛業金融の困難等をも指摘しなければならない

◇

これを要するに尨大な增產計畫を急速に達成するには幾多の障害は免れ得ないとしてもその豐富な金資源と金に對する無限の必要性を考へる時滿洲採金事業の前途は實に洋々たるものがあり、斯業の劃期的發達は何人も想像に難くないであらう。

カトリック教徒 支那避難民へ救濟の手

【東京國通】カトリック宣教師ジャッキノー氏が支那民衆の溫い慈父として救ひの手を差し伸べ活動してゐることは日本のカトリック教信者達にも大きな衝動を與へてゐたが「惡むべきは抗日政府、罪なき支那避難民を救へ!」と日本女性の一群も立つに至つた

帝大教授田中耕太郎博士夫人峯子さん、理化學研究所主任高嶺俊夫博士夫人須磨子さんはじめ本郷區駒込上富士見天主教會婦人會の人々で、同會では頑迷な南京政府の抗日戰の犧牲となつて、着の身着のまゝ避難し迫り來る極寒に住むに家もなく、着るに着物もなき數十萬に上る哀れな上海の避難民達のために少しでも溫な冬を送れるやうにと衣類を送ることになり、目下全國の信者の中にも續々共鳴者が現れ本部の上富士前町の教會へは既に各地から山のやうなシャツ、衣類、その他が送られて來てゐる、この集められた品々は近くまとめて避難民の救護に獻身的努力を捧げてゐる上海信者のもとに送られその手を通じて全避難民に贈られる筈であるがこの隣邦良民への溫い救援の企はわが國武士道精神の一端を示すものとして陸軍省でも極力後援してゐる

一卓三錢獻金 第二回分寄託

鞍馬麻雀倶樂部より

市內朝日通り第二朝日ビル內鞍馬麻雀倶樂部經營主島崎良三氏は皇軍慰問獻金のため、昨年十一月末、打花一卓每に金三錢を貯金し十二月六日、本社を通じ金二十一圓十八錢を關東軍に獻金したが、四日再び本社へ左の手紙と金二十一圓三十六錢を寄託した

新京日日新聞社殿

前略 左記金員は皇軍慰問獻金として昨年十二月中、打花一卓每に金三錢宛捻出累積せるものに有之御手數恐縮に候へ共關東軍に寄託方御取計相願度御依願申上候

追而此獻金は今次事變の解決迄繼續致度と存じ既に昨年十一月より實行し來れる處なるが當初着手に際し私自身だけの力にては實行困難を豫想されたるが爲め、當方の御得意樣との公約として確實履行を期したる次第に候、誠に少額の慰問金ではありますが銃後國民の聲援として御取次の程願上候

記

金二十一圓三十六錢也

但昭和十二年十二月中打花七百十二卓一卓三錢宛

全滿卸賣物價指數

十一月分……經濟部發表

政府經濟部發表＝十一月分の全滿總物價指數を見るに康德四年平均を基準とすれば一〇二・三であつて二・三パーセント騰貴し、前年同月を基準とすれば一一八・六即ち一八・六パーセントの騰貴を示してゐる、なほこれを前月（十月）に比較すれば九九・二で〇・八パーセントの低落でこれは穀類の本格的出廻期に入り軟調化落を現出したほか、綿絲布類の原料安見越による漸落などがその主なる要因をなすものとみられる、又都市別にその指數を見れば新京より低い地方は大連（八六・三）の一都市のみで他は何れも高く哈爾濱（一一六・七）、濟々哈爾（一一六・〇）、營口（一一三・六）、安東（一一〇・八）、吉林（一〇九・四）および奉天の（一〇三・七）である、なほ品目別に騰落を示せば騰貴十六種、下落卅七種及び保合七種で內譯左の如し（對前月比）

△騰貴（十六種）

品目	%
小麥	三、四%
鷄卵（鷄蛋）	三、二
鹽鰯（大麻哈魚）	五、八
麥粉（麵粉）三鷄	〇、八
同（同）三羊	二、四
鹽	〇、二
葉煙草（黃烟）	一八、二
棉花（滿洲棉）	一、八
銅塊	一八、五
木材	一、三
丸鐵（圓鐵棒）	一、三
平鐵（板鐵）	六、四
亞鉛引板（白鐵平板）	四、五
石炭（煤）	二、九
麻袋	六、八
染料	一〇、九

△保合（七種）

醬油、淸酒（日本酒）、麥酒、茶、卷煙草（煙捲）、板硝子（玻璃）、セメント（洋灰）

△下落（卅七種）

品目	%
大豆混保一等品	六、六%
同等外品（不驗格）	九、二
小豆	四、〇
高粱	三、五
粟（小米）	五、五
玉蜀黍	五、二
白米	四、〇
蘇子	一、六
麻子	〇、五
牛肉	三、三
豚肉（猪肉）	〇、六
生鷄（活鷄）	七、七
麥粉（麵粉）三麥	〇、四
同（同）寶船	〇、四
砂糖（白糖）	一、五
燒酒	〇、二
柞蠶絲	三、三
綿絲（綿紗）	二、七
細布軍人（小綠花旗）	二、五
細綾顏（布）	二、五
大尺布靑天童子	三、八
サージ（毛布）	〇、六
人絹織物（人造綢）	二、七
羊毛	〇、四
棉花（印棉）	〇、六
銑鐵（生鐵）	〇、八
丸釘（丸釘）	三、〇
煉瓦（紅磚）	一、一
白ペイント（白鉛油）	〇、二
石油（洋油）	〇、四
燐寸（火柴）	〇、三
豚毛（猪毛）	八、七
豆粕（豆餅）	五、一
豆油	一二、七
曹達	三、五
洋紙	二、四
人絹絲（人造絲）	五、二

國防型防寒帽の講習會を開催

東條國婦本部長の考案

國防婦人會本部長東條參謀長夫人は、非常時下における銃後の努めとして酷寒零下卅數度のもとに傷病兵の慰問に或は驛頭の送迎に活躍する國防婦人會員の苦痛を憂慮し、今回名も國防型防寒帽と銘打つて素晴しい防寒帽を案出したが、これを全滿國防婦人會員の防寒帽として普及させるため國防婦人會本部主催で來る七日午前十時より新京露月町女子青年學校において第一回講習會を開くことゝなつた、講師は東條夫人、女子青年學校彌富先生で會費一圓、一般婦人の參加を希望してゐる、なほこの防寒帽は表を黒ビロード裏を毛繻子で一部分毛皮を用ひたものであるが、費用の點も毛皮を廢して眞綿を用ひると約二圓位で一度の講習で自分の手で容易に作成し得られるものであるが、將來はこれを國防婦人會員の制帽として式場その他の場合に着帽のまゝでよいと言ふ禮式用として採用される模樣である

プレンソーダ

「花嫁人形」の作曲で一躍名聲をあげたヴァイオリニスト杉山長谷雄君近頃は作詞の方でもなかなか秀逸を發表してゐるが▲聖戰全勝！國威發揚！凱歌高唱！の新春に相應しい作詞を同氏獨特の繪葉書として年賀に發表した▲以下歌詞

打出すタマに投げるタマすタマやらはぜるタマましてたげうつ肉のタマ猛虎の日本軍隊にタマげてタマらぬ支那の國

▲出征進軍陣中に戰捷慰問や平和には無くてはならぬ音符ダマお玉杓子の音符ダマソレ打てヤレ打て音符ダマ

けふの天氣

西の風晴

日の出 前八時一三分

日の入 後五時一五分

月の出 前九時四七分

月の入 後八時五二分